

札医事一発第 369 号  
札保医第 6592 号  
令和 2 年(2020 年)12 月 24 日

医療機関管理者 様

一般社団法人札幌市医師会 会長 松家 治道  
札幌市長 秋元 克広

## 新型コロナウイルス感染症による医療従事者間の差別・偏見等の防止について

日頃より、札幌市の医療行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

10 月下旬頃より急増していた新型コロナウイルス感染症の札幌市内の新規陽性患者につきましては、11 月 19 日をピークに、徐々に減少傾向となり 12 月 23 日現在では 59 名となってきてきたところです。

市内の感染状況は改善の兆しも見えつつあるところですが、依然として感染者数は多く、重症患者数も減っていないなど医療体制はひっ迫しており、医療従事者の確保が難しい年末年始は更に厳しい状況となることが危惧されております。

また、この 2 か月程度の間の高齢者施設・学校等のほか、医療機関においてもクラスターが発生し、当該施設に関係する職員やご家族の方々に対する差別や偏見等を受けているとの報告もある中、特に医療従事者が診察を拒否された等、医療機関より差別・偏見等を受けた事例も報告されているところです。

つきましては、感染された方々や医療現場等で対応いただいている方々への差別・偏見等の撲滅に向け、引き続き取り組んでまいりますので、市内の医療機関の皆様におかれましても、最大限のご尽力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

担当：札幌市保健所医療政策課  
〒060-0042 札幌市中央区大通西 19 丁目 WEST19 3 階  
E-mail: iryouseisaku@city.sapporo.jp  
TEL 622-5162 FAX 622-5168